

(様式3-2) 調査研究活動記録票(先進地視察又は現地調査に要する経費)

嬉野市議会議員

山口卓也

実施月日	令和7年2月12日		
実施時間	9時30分～11時30分		
調査先	岐阜市役所		
調査所在	岐阜県岐阜市司町40番地1		
調査の目的	自動運転バスの取組みについて		
調査先担当者	岐阜市都市建設部長 太田喜文氏／交通政策課長川田真樹氏／交通政策課主幹兼交通推進係長宇野真由美氏 交通政策課交通施策推進係石黒巧真氏／議会事務局議事調査課議事記録係太田恵氏		
内容・結果等	<p>岐阜市は令和元年に自動運転研究会を設立し令和2～4年に実証実験を実施。令和5年に5年間の継続運行をスタートされた。運行主体は岐阜市、運行管理をBOLDY(株)、オペレーター遠隔監視者をバス・タクシー会社として体制をとられている。市街地に以前、路面電車が走行しており、運行ルートなども含め社会の受容性の土台があった。信号協調システムなどレベル4に向けた技術の検証もされている。認知度向上に向けた取組みとして自動運転バスのデザインをJR九州のななつ星をデザインされた著名な水戸岡鋭治氏に依頼されている。</p> <p>交通の効果だけでなく、観光やピックアップの醸成も目的として推進されている。コスト面はコストの議論になるとなかなか前に進めないのが、はなからコスト面は度外視で進められている。トヨタの自動運転も問合せされていたが、秘密主義で中身は全くわからなかったとのこと。</p> <p>【まとめ・感想】観光地巡りのルートを試乗させていただき、自動運転バスの取組みが街に溶け込んでいることを感じた。都市開発と連動して自動運転バスを取り入れるなど、総合的な街の魅力向上に繋がっていた。意気込みや熱意もあり、先進地としての素晴らしさを感じた。</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	旅費	(嬉野～福岡空港～中部国際空港～岐阜)	29,420
	宿泊費	アパホテル	4,500
	合計		33,920